

# 極楽寺だより No.80

お念仏のふるさと浄土宗



白雲山  
来迎院

極楽寺

西暦:2025年  
佛歴:2565年  
開創:447年(1577年開創)  
浄土宗鎮西派

浄心会 (写経とお念仏の会) 通常毎月第2土曜日 10時から

(7/19)・(9/13)(10/11) ※8月休会

## 施餓鬼法要

8月20日(水曜日)

午前10時より

講師:高田 光順上人

(石川県七尾市 宝幢寺)



暑中お見舞い申し上げます。

本年も例年通りお施餓鬼の法要を致します。

極楽寺のお施餓鬼は正式には盂蘭盆施餓鬼会(うらぼんせがきえ)と言い、良く知るお盆(盂蘭盆)と施餓鬼の二つの行事が合わさった法要です。施餓鬼とはこの世の命を終えて望むべくもなく餓鬼の世界に堕ちた方々を救うための祭礼、盂蘭盆とはお盆とも言い日本古来の行事で、懐かしいご先祖を我が家に迎えていつもとは違った特別なおもてなしで感謝の思いを手向る風習です。また法要の中で昨年から今年にかけて浄土へ旅立たれ初盆を迎えられる方やみなさまのご先祖に塔婆を手向けてご回向いたします。

そして、今回は法話があります。石川県七尾市から高田光順上人がお越しくださりお話をさせていただきます。七尾市と言えば昨年の能登半島地震で甚大な被害があった場所でもあります。

どんなお話が頂けるのか楽しみです。どうぞ皆様お参りください。

※マスクの着用は個人の自由となりましたのでご理解ください。

## 棚経(お盆参り)に参加します

8月1日から14日までの間で福山市内のお檀家様のご自宅へお盆のお参りに行かせていただきます。日時や時間などは同封されている棚経の予定用紙の通りですが、葬儀などが入った場合には日時や時間変更もあり得ますのでご了承ください。また日中お仕事をされていたり都合が合わずに日時や時間を変更される方は日程調整の都合上、早めのご連絡をお願いいたします。(時間はあくまでも目安です、交通事情等で多少前後いたします)



## ※施餓鬼塔婆の申し込みについて

施餓鬼法要の法要中に塔婆のご回向をいたします。

今号の極楽寺だよりに同封されているハガキに戒名などの必要事項を記入して

8月16日(土曜日)までにご郵送またはLINE(@gokurakuji2178)又は棚経中に住職に渡してお申し込みください。塔婆代は施餓鬼法要の時に受付にてお納めください。また、遠方の方は現金書留にて郵送して下さるか、下記の口座に塔婆代をお振込みいただいても結構です。(その際は必ずハガキ又はLINE(@gokurakuji2178)での

塔婆の申し込みが必要です)

(振込口座) ゆうちょ銀行 店名 五一八 店番 518

口座番号 5970282 極楽寺

※塔婆代の振込は護持会費の口座ではありません。

お間違えないようお願いいたします。

◎法事のお申し込みは年回表をご確認の上お早目にご連絡ください。

ご年忌はたとえ命日を過ぎていてもご供養をして手を合わせる事が大切です。



◎法事のお申し込みはお早目にご連絡ください。

百回忌	七十回忌	五十回忌	三十回忌	二十七回忌	二十三回忌	十七回忌	十三回忌	七回忌	参回忌	老周忌		
大正十五年	昭和三十一年	昭和五十一年	平成元年	昭和六十四年	平成五年	平成十一年	平成十五年	平成二十一年	令和元年	平成三十二年	令和五年	令和六年

令和七年年回忌

発行元:720-0838広島県福山市瀬戸町山北740

電話:(084)951-2178 FAX:084-999-1577

携帯080-3902-0030 (24時間対応)

E-mail:fukuyamagokurakuji2178@gmail.com

LINE:@gokurakuji2178(ご登録お待ちしております)

## 第二次世界大戦終戦80年に寄せて

今年、太平洋戦争・第二次世界大戦が終戦

を迎えて80年の節目を迎えます。戦争体験された方が段々と高齢になりその体験を語り継いでいく難しさが問われています。今もなお世界では争いの火が消えることはありません。

先日の6月23日は沖縄慰霊の日でした。日本で唯一民間人を巻き込んだ地上戦が繰り広げられ日米合わせて約20万人が犠牲となり、実に県民の4人に1人が亡くなり犠牲者は約9万4000人に及んだとされています。その中で県民のために力を尽くした人がいつかの新聞記事に掲載されていました。島田叡(しまだ あきら)元知事、兵庫県神戸市出身の彼は沖縄での地上戦が始まる少し前の昭和20年1月末に沖縄県知事として着任した。前任の知事が県民や旧日本軍との不仲になり職場放棄とも取れる行動で沖縄を離れ次の知事選びは難航した。そんな中で白羽の矢がたったのが島田だった。「俺が行かなければ、誰かが行かならんやないか」と決死の覚悟で沖縄にわたった。当時43歳だった島田叡は赴任するとすぐにその手腕を発揮し、着任早々、沖縄軍司令部の長勇(ちょう・いさむ)参謀長と面会し、軍との良好な関係を構築。そして県民の命を守るために、わずか5か月の間に県民59万人中22万人余り(県北部に15万人・県外本土に5万3千人・台湾へ2万人)を疎開に導いた。また食料の確保や分散など喫緊の課題にも着手し、戦時統制化で制限されていた郷土芸能の振興にも力を入れた。こうした配慮に県民は深い信頼の念を抱くようになったという。3月に入り沖縄でも空襲が始まり更にアメリカ軍が上陸してきた6月には指揮を執っていた県及び警察組織の解散を命じ、自らは『轟の壕』を出て摩文仁に向かった。その際県職員に「皆さんは生き延びて沖縄県のために尽くしなさい」と訓示したうえで自身は「俺はこれだけ県民を死なせておいて生き残ることはできない」と話したあと消息不明になっており、遺体も確認されておらず現在も遺骨は見つかっていないという。おそらくは自決したとの説が有力である。



島田叡(しまだあきら) 須磨寺町出身  
沖縄戦当時の県知事で  
最期まで県民を守ったことから  
沖縄では島守と称されている



先日、終戦80年の戦没者追悼・平和誓願の行事が沖縄県摩文仁の平和祈念公園の平和祈念堂で浄土宗と浄土宗平和協会の主催で行われ、家族で参加してまいりました。法要後、公園内にある平和の礎(いしじ)を拝見、広島県出身者で

沖縄で亡くなった方の名前もたくさんありました。その中に檀家さんのお父さんらしき方の名前も見つけ手を合わせました。また島田叡知事の慰霊碑、終焉の地の石碑(石碑の裏に壕も残されていました)の前で追悼と平和祈願のお念仏を息子と共にお称えしました。後世の方が立てた顕彰碑『島守の塔』も拝見し、これからの恒久平和への思いをあらたにしました。

この島田叡知事の話は『島守の塔』という名前で映画化されています。お時間があればご覧ください。



## 子そだて奮闘記

長男まさのりは先日生まれて初めての体験をしました。

それは海に入ること!足だけでしたが海に入ることが出来ました。思えば福山に来てまさのりが生まれから潮干狩り以外で家族で海に行ったことがありませんでした。それにしても初めての海が沖縄の海とはなんとも贅沢な初体験でと羨ましく感じました。それと今年も夏休みの手伝いとしてお檀家様のご自宅へお盆のお参りに伺う予定にしております。

おきょうもおまいりも初めてですが、いっしょうけんめいがんばります。よろしくおねがいします。

また、今年からは長女和香菜もきちんと衣を着せお盆のお参りに伺う予定です。特に和香菜にとっては初めてのことなのでお参りに伺うお宅のみなさまには色々ご迷惑をおかけするかもしれませんが、お寺としては2人ともお坊さんになるため修行と情操教育一環として連れておりますのでどうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 老犬になりました...

極楽寺に来た時から番犬としてワンワンとよく吠えてくれていた我が家の柴犬(ミント)、最近檀家さんから最近吠えんねーとよく聞くようになりました。それもそのはず気がついたらミントも今年で15歳。中型犬の平均寿命はだいたい13~14歳。ミントは立派な老犬になり目も見えずらくなり、耳もどうやらあまり聞こえないみたいです。穏やかに毎日を過ごしています。

